

令和4年度から5年度にかけ、区長会総務委員会と豊田市（担当部署：地域振興部地域支援課）の共同研究として実施している自治区デジタル実証実験について、これまでに研究した内容を報告します。

## 1 実証実験の実施に至った経緯

### (1) 自治区における課題（R3 総務委員会報告資料より）

- ・市から自治区へ依頼している業務が多様化し、負担が増えている  
（業務例）土木工事等の申請・立会、広報の全戸配布、防犯灯・公園等の管理、要支援者の見守り
- ・市や他団体と連携を求められるとともに、自治区長への当て職・出席依頼が多く担いきれない  
（連携する地域団体例）民生委員協議会・地区コミュニティ会議・地域学校共働本部・自主防災会
- ・若者の自治区離れや高齢化、定年延長などにより、役員の担い手・行事参加者が減少している
- ・区長交代の際に、事務の引継ぎを紙の資料でやっているため、時間・労力がかかる

### (2) 自治区のめざす姿

- 自治区目線👁️ …市からの依頼業務や自治区内の事務負担を軽減し、他団体・区民との連携を強化することで、役員・行事参加者を確保しよりよい地域社会を継続していく
- 市目線👁️ …自治区・市双方の事務負担を軽減（支援）し、助け合いの関係を継続する

デジタル技術を活用することで、自治区が抱える課題の解決や自治区の目指す姿が実現されるのか、検証していくことになりました。

## 2 実証実験の概要

令和4年6月、実証実験を希望する4地区から、区長会役員会の承認を得て、自治区数や事務所数、平均年齢に差があり比較検証が可能である浄水地区・美里地区を対象としました。

### (1) 実証実験の方法

実証実験を行うため、豊田市からタブレットが貸与されました。実証実験を行う自治区、豊田市地域支援課、高橋支所、豊田市区長会事務局用の計22台です。デジタル化がタブレットである理由は、デジタル機器が整備されていない自治区が多くある中で、スマホの機動性とパソコンの使いやすさを兼ね備えた機器として選びました。

#### <タブレットについて>

- 端末 iPad（第9世代）64GB
- 通信 KDDI回線、3GB/月
- 追加アプリ Microsoft：Word、Excel、OneDrive（クラウド保存）等  
LINE WORKS：LINEのようなビジネス用チャット
- 付属品 タッチペン、キーボード付き保護ケース、充電器



## LINE WORKS (ラインワークス) を導入した理由



- (主な機能) メッセージのやり取り、ファイル共有、音声通話、ビデオ通話
- ・操作感は LINE と似ているため、抵抗感なく使い始めやすいと言われている
  - ・LINE のビジネス版アプリで、LINE よりも強固なセキュリティがあり、区長個人の LINE と切り離して使用できる ⇒区長交代時は引き継ぎが可能
  - ・LINE WORKS 利用者同士だけでなく、LINE ともつながることができる

## (2) 検証内容

タブレットを使うことで自治区と連携先(下表)とのやり取りがどのように変化するのか、検証します。

### <3つの連携先>

1 支所・区長会事務局	2 他の区長	3 区民
-------------	--------	------

## (3) 実証実験を行う自治区長

(◎: 地区会長 ○: 総務委員)

浄水地区 (5自治区)		美里地区 (14自治区)	
自治区名	区長名	自治区名	区長名
浄水町	水野 豊	東山町	越本政雄
○大清水	上島貴吉	広川町	長坂 敏
◎伊保原	鈴木貞敏	森	大坪道助
逢妻町	田中正樹	御立	水野吉朗
向山	池田勝信	野見	曾我昌司
		◎第1宝来	岡本 涉
		第2宝来	池田泰輔
		神池	野尻拡貴
		美里一区	柿島喜重
		○美里二区	成田健二
		美里三区	望月英光
		美里四区	丸石敏憲
		県営神池	船津 博
		野見山	米田久巳

## (4) 期間

令和4年11月(タブレット配布)~令和6年3月

※タブレット納入遅延の影響により、実証実験は11月に開始しました。

### 3 具体的な取組

#### (1) 両地区共通の取組

##### ①各地区区長会で実施したタブレットの勉強会

日程	内容
令和4年 10月	タブレット・タブレットのアプリの活用方法検討
11月	<b>タブレット使用開始</b>  <b>導入講習会</b> ○講師 ひまわりネットワーク(株) ○内容 ・充電、電源オンオフ、文字入力のやり方 ・LINE WORKS の使い方
12月	<b>LINE WORKS（トーク・ファイル閲覧等）の使い方</b> <b>あいち電子申請届出システムの使い方 など</b>
令和5年 1月	オンライン会議の行い方 など
2月	LINE WORKS の応用 など



##### ②合同意見交換会

浄水・美里地区が集合し、自治区デジタル化に関する意見交換を行いました。

日時 令和5年1月29日（日）午後2時～4時

会場 美里交流館

参加者 浄水地区区長2名、美里地区区長13名、市職員、ひまわりネットワーク

内容  
 ・タブレット活用状況の確認  
 ・各地区のデジタル化の取組発表  
 ・意見交換



##### ③各自治区でのタブレットの活用状況（アンケート結果・令和4年12月末時点）

###### ●タブレットの使用状況について

- ・毎日1回以上使う区長は19名中、6名
- ・多くの区長が自宅にタブレットを持ち帰り使用しているが、屋外に持ち運んではいない
- ・5か所の自治区は、区長の他に役員や事務員もタブレットを使った

###### ●アプリについて

- ・LINE WORKS は、「自治区業務のために便利に使える」と答えた区長が15名  
 意見：コミュニケーションや情報共有のツールとして役に立つ など
- ・Microsoft は、「便利に使える」は12名、「便利に使えない」は7名  
 意見：PCと同じように資料を作れるため便利、資料はPCで作るので不要 など

## (2) 浄水地区の取組

浄水町自治区は「LINE 公式アカウントを活用した情報発信」に向けた取組を行いました。

### ①経緯

- ・令和4年11月浄水小学校で避難所運営訓練を開催し、その中で6年生からプログラミングの授業で作成した防災ゲームが発表された。
- ・ゲームは地域の人に大好評で、より多くの人に体験してもらいたいと考え、自治区から地域へ展開することになった。

#### LINE 公式アカウントとは

名前の前に★マークが付いている、企業、店、芸能人など LINE の友だちのこと  
**浄水町自治区の場合…**

- ・「浄水町自治区」というアカウントを作成
- ・住民が LINE の友だち追加をすると、自治区から発信されたメッセージが受け取れる
- ・住民個人とのやり取りはしない設定にしている



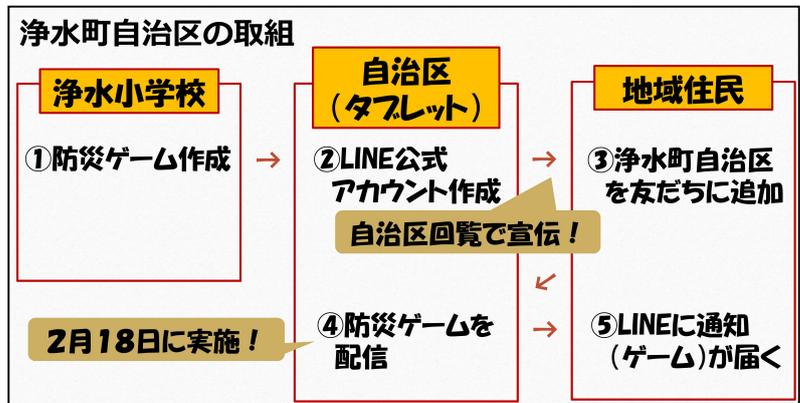
#### 防災ゲームとは

- ・スプリンギンというアプリで小学生が作成した防災に関するゲームのこと
- ・スプリンギンに登録されたゲームは誰でも挑戦できる
- ・浄水小では主にこのアプリを使って、防災ゲーム作成の授業が行われている



### ②手順

浄水小学校と自治区が連携して、防災ゲームを地域住民へ発信するために、自治区は LINE 公式アカウントを作成し、回覧チラシによって地域住民へ周知しました。回覧を見て LINE に「浄水町自治区」を友だち追加した住民は、自治区からの通知を受け取ることができます。2月18日に防災ゲームが掲載されたホームページのリンクを配信し、受け取った住民にゲームを体験していただくことができました。



### ③今後の取組計画

- ・浄水町自治区での LINE 公式アカウントのさらなる活用  
 (例) おたよりなど地域情報の配信
- ・他自治区での LINE 公式アカウントの活用検討
- ・タブレットの活用方法の検討  
 (例) 地区区長会資料のペーパーレス

オンライン会議の練習をしている様子→



### (3) 美里地区の取組

「**ファイリングシステム構築**」に向けた取組を行いました。

#### ①経緯

- ・自治区長（特に新任）の場合、過去の情報が整理されておらず、また多分野に及ぶ業務であるため、やるべきことが分からなく困ってしまう。
- ・前任者からの引き継ぎ内容だけでなく、他自治区の状況も取り入れていくことで、よりよい自治区運営が可能になる。区長同士が連携する必要がある。

#### ②手順

美里地区での取組スケジュールを作成し、計画的にデジタル化を推進します。地区内の区長が全員でタブレットに慣れて使いこなせるよう、ステップⅠからⅣと段階を踏み、無理のないデジタル化を行っています。

ステップ <レベル>	タブレットに慣れ ⇒ 使いこなす	スケジュール				
		11月	12月	1月	2月	3月
Ⅰ	配布され、手で触る	○ <sup>13</sup>	↓○毎月1回の区長会で利用			
Ⅱ	LINE WORKSを見る <会話ができる>	○○	○	●	●	●
Ⅲ	自分でファイルを入れる <OneDrive フォルダー管理>		○	○	○	○
Ⅳ	市・電子申請ができる					

#### ファイリングシステム検討案→

4役が主体となって検討中です。区長会資料、自治区だより、イベント（環境美化・祭り・防災訓練）日程、保有する防災機材など、LINE WORKSのフォルダ機能を使って保存・整理を行う予定です。現在は、必要な情報の整理を行っています。



タブレットが配布されてからは、美里地区4役で1～2週間に一回集合し、タブレットの練習をしたり、今後の方針を検討したりしました。また、4役や若手区長が先生となってタブレットの使い方を区長同士で教え合いました。その成果として、全区長がLINE WORKSを見ることができるようになりました。



#### ③今後の取組計画

- ・全区長がデータをフォルダ（LINE WORKS や OneDrive）に保存できるようになる
- ・あいち電子申請届出システムなどを使い、年度当初提出書類を提出する
- ・デジタル化を推進するための組織づくりを検討する
- ・他団体（コミュニティ会議や地域会議）との連携をデジタルにより強化する
- ・地区区長会のペーパーレス化を検討する

## 4 これまでの検証結果

### (1) 成果

1 支所・区長会事務局とのやり取り	
浄水地区	LINE WORKS：軽易なやり取りをアプリ上で行うことができた。 あいち電子申請届出システム：年度当初提出書類の提出にチャレンジし、申請事案があれば都度対応していく。
美里地区	LINE WORKS：メッセージのやり取りだけでなく、ファイルの共有も行った。 あいち電子申請届出システム：全区長が利用者登録済み。一部自治区で工事申請書の提出を行った（2件）。
豊田市 区長会事務局	LINE WORKS：連絡やファイルの共有を行うことができた。 あいち電子申請届出システム：申請フォームを作成し、一部自治区から申請を受け付けた。

2 他の区長とのやり取り	
浄水地区	タブレットのLINE WORKSと個人スマホのLINEと併用し、区長間のメッセージのやり取り、情報共有を行うことができています。
美里地区	これまでSMSで行っていた毎月の地区区長会前の案内や各種事前連絡にLINE WORKSを活用している。他にも、会議資料の事前共有で会議時間を短縮したり、グループトークで気軽に話せるため、複数の区長からアドバイスを 得て自治区の困りごとを解決したりしている。

3 区民とのやり取り	
浄水地区	浄水町自治区のLINE公式アカウントを地域住民に周知し、500人以上が友だち追加している。
美里地区	今後検討する。

### (2) 考察

自治区	豊田市
<ul style="list-style-type: none"><li>・区長間のコミュニケーションが活発になる</li><li>・自治区業務のデジタル化を検討するきっかけになる</li><li>・窓口に行かずに様々な手続きができるようになれば、自治区業務を担える人が増える</li><li>・タブレットやアプリを普段使わない区長は、慣れるまでに相当時間がかかる</li><li>・区長業務が忙しく、使っている余裕がない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・区長への連絡が取りやすい</li><li>・使い方の丁寧な説明が必要</li><li>・コミュニケーションを取る手段として有効</li><li>・自治区が窓口に来なくても、簡単に申請や届出ができるよう早急に整備する必要がある</li></ul>

## 5 今後の展開

- ・浄水・美里地区で引き続き実証実験を行います。取組内容は、各地区の状況に合わせて、共に検討します。
- ・令和5年度夏頃にタブレット・連絡ツールの必要性、その他効果的な手段を検討し、自治区におけるデジタル化の方針を決定します。